

「イシマルさんがエスカレーターに乗るのを初めて見ました！」。マネジャーがのたまう。仕事で一緒にいるイシマルのマネジャーは、大変である。体力が無くてはならない。

私、エスカレーターを使わない。すべて階段である。よく使う、東京の地下鉄・大江戸線新宿駅の、ホームから改札まで階段だと、190段近くある。それにマネジャーは付き合わされる。エレベーターも5階以上にならないと使わない。イシマルは好きで階段なのだ。付き合わされるマネジャーは、たまったもんじゃない。

だから、というわけだろうか？ マネジャー（男、32歳、183センチ、二枚目、独身）は、体力づくりにマラソンをしている。18日の東京マラソンに出る。先日のホノルルマラソンにも参加をして来た。

実はホノルルマラソンのその日、イシマルはロケで働いていたのだが、マネジャーは、ハワイへ。マネジャーとしての体力づくりが優先されたようだ。イシマルの階段上りについていくためである。恐らく、東京マラソンの日もイシマル、ロケがあると思われるが、マネジャーの体力づくりが優先されるだろう。エスカレーターを使わせてもらえないのだから。

「エスカレーターに乗っているのを初めて見ました！」

理由はあった。私、右ひざに水がたまり主治医から、階段などひざに体重がかかる動きに、ドクターストップがかかってしまったのだ。大江戸線の階段など、もつての外である。そして徐々にエスカレーターに乗って気付いた。素晴らしい機械なんだなあと。少々足が悪くとも、遠出が出来る。

しかし、ひざが治ったら、再び階段を歩こうと思う。なんせ、仕事を休んでまで体力づくりをしているマネジャーに負けるわけにはいかないのだ

【朝日新聞・マリオン】

2007年2月14日掲載